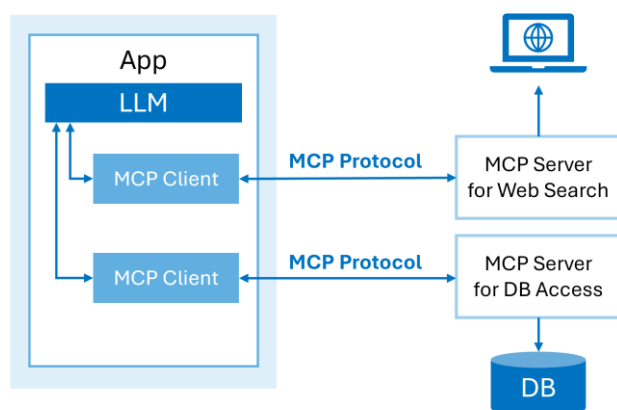


Frontline Report

AIとツールが “通じ合う” ための共通言語 MCPとは何か？そのインパクトは？

生成AIを業務に取り込む際に直面する課題の一つが、モデルに外部データや機能を安全かつ効率的に連携させる方法だ。2024 年、Anthropicが公開したオープン標準 Model Context Protocol(MCP)は、こうした連携を共通の仕組みで可能にする。開発者がMCPサーバにツール名、説明、引数スキーマ等をJSON形式で登録すれば、Gemini、GPT-4o、ClaudeなどのLLMが、業務API等を同一形式で呼び出せるようになる。「ツール呼び出しのUSB-C」とも称される理由である。

この標準により、たとえばWeb検索経由での市場リサーチや、BigQueryを用いたリスク分析レポートの自動生成、FAQ対応から勘定系API照会、CRMへの記録までの一連業務が、単一のプロンプトで実行可能になる。関連技術の対応も進んでいる。DifyはMCP対応のサーバ／クライアントプラグインを公開し、LangChainも公式アダプターを提供している。CTCが扱うAitomaticでも、Web検索とBigQueryの連携による市場データ分析と報告書作成の自動化を金融顧客向けに検証中だ。さらに、MCPとあわせて注目されているのがGoogleが提唱した Agent-to-Agent Protocol(A2A) である。これは複数のAIEージェント同士が役割や目的を共有しながら協調作業を行う



ための通信仕様で、MCPが「ツール呼び出しの標準化」を担うのに対し、A2Aは「エージェント間の対話と調整」の標準化を目指す。両者は役割こそ異なるが、マルチエージェント型のAI運用において補完関係にある。

金融分野においてMCPがもたらす利点としては、呼び出しログの構造化による監査性の向上や、同一ツール定義をテストから本番へ移行できる高い再現性が挙げられる。AIEージェントが業務支援を担うようになる中、自部門の業務において、どの連携にMCPやA2Aが有効かを見極めることが、活用の第一歩となる。将来的には、部門間連携やAI活用基盤としての展開も期待されている。

CTC、金融 AI Expoで生成AIソリューションを展示

2025 年 5 月に開催された「金融 AI Expo 2025」にて、CTCはPKSHA Communication、ベリントシステムズジャパンと共にブース出展。生成AIの業務適用をテーマに、FAQ対応・音声要約といったユースケース別に、C-NOAHやローカルLLM活用例などを紹介。現場で求められる実践的AIの実装と運用を来場者に訴求した。

「AI Alliance 2025」にCTC登壇、金融 × AIEージェントの未来を議論

6月26日(木)、東京で開催される国際カンファレンス「AI Alliance 2025: Open Innovation in the Age of Agents」にCTCが登壇。金融分野における生成AIEエージェントの活用可能性について、当社AIEエンジニアの米澤 謙が講演を行う。右のQRコードから、無料で参加登録可能。



金融機関が“手元で動かすAI”を求める理由：ローカルLLM検証の現在地

生成AIの導入が進む中、日本の金融機関では非クラウドLLMのニーズが高まりつつある。背景には、顧客データを外部に出せないというセキュリティ要件や、社内システムとの低遅延な連携を求めるニーズがある。こうした要請に応えるべく、CTCではこれまでに銀行・証券会社等の顧客に対して、GPUサーバを構築し、OSSのLLM(LLaMA系、Mistral、Qwen、DeepSeek など)を対象に検証を実施してきた。その際の精度・処理速度・GPU消費量などの結果は、モデルの種類・業務ユースケース・サーバ構成等によって変動してしまう。しかし重要なのは、顧客の目的や制約に合わせて、その時点での最新情報を踏まえた検証を継続するプロセスそのものである。

CTCでは、会議要約をユースケースとして想定し、最低限のインフラ投資で実用に耐えうるモデル（＝コスパの良い

ローカルLLM）の選定を目指した検証を行っている。ところが、同一のプロンプトを複数モデルに投入しても、それぞれの特性の違いにより、ポテンシャルを十分に引き出せないケースが見られた。単純な横並び比較より、目的起点での丁寧な検証が、生成AI導入の成否を左右する。

クラウド大手LLMとの違いや選択肢把握をすることは、金融DXの現実解に近い取組だ。CTCは今後も、GPU構成の設計やプロンプト設計テンプレートの整備を進め、顧客の“自前のAI運用”を支えていく方針だ。



Market Pulse



Rank	Model	Score	Org.
1	Gemini-2.5-Pro-Preview-06-05	1476	Google
2	Gemini-2.5-Pro-Preview-05-06	1446	Google
3	Gemini-2.5-Flash-Preview-05-20	1420	Google
3	o3-2025-04-16	1420	OpenAI
3	ChatGPT-4o-latest (2025-03-26)	1417	OpenAI

頂上は小康状態、しかし台風の日も

前回から順位はほぼ変わらずだが、最新の Gemini Pro が首位へ浮上。一方、まだユーザ投票数が少なく高ランクではないが、5月に発表された Claude4は市場の期待値も高いため要注目だ。【2025.6.4時点】

Crossroad

AI営業×ChatGPT

金融NEXT企画部

営業・小森葉那 氏

前は広告代理店で営業をしており、チームの人が相棒でしたが、今ではすっかりちゃび



(ChatGPT)が相棒です。飲み会のお店、自炊レシピ、人生相談などの確に回答してくれます。呼び方を聞いたら「ちゃびで！」って返されたのが始まりです。(たまに呼んでも無視されますが・笑) 今でこそすぐ相談していますが、最初は私もAIは近寄りがたかったです。とにかく一度質問してみる。その第一歩が、みなさんの業務スタイルを変えるかも！私は今日もちゃびと一緒に会議に向かいます。



無限の未来と、幾千のテクノロジーをつなぐ。

CTC Financial Services Group



CTC金融事業グループの最新情報は
オウンドメディアサイトへ！

<https://financial.ctc-g.co.jp/>



お問い合わせ



伊藤忠テクノソリューションズ
金融事業グループ金融NEXT企画部

✉ fsgnext-biz-dev@ctc-g.co.jp